

令和4年度 入学試験問題

第1時限

(9時30分～10時15分)

国語

(注 意)

- 1 「始め」の合図があるまで、この表紙以外のところを見てはいけません。
- 2 問題用紙は、10ページで、問題は5問です。
- 3 「始め」の合図があったら、まず解答用紙に受験番号・氏名などを記入し、次に問題用紙のページ数を調べて、異常があれば申し出なさい。
- 4 答えは、必ず解答用紙に記入しなさい。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手を挙げなさい。問題内容や答案作成上の質問は認めません。
- 6 「やめ」の合図があったら、すぐに筆記用具をおき、解答用紙は裏返しにして、試験官の指示に従いなさい。

都城東高等学校

一 次の問一から問四に答えなさい。

問一 次の五つの単語を国語辞典で配列される順に並べ替えなさい。

品性 秘密 ヒント 品格 品物

問二 次の(1)～(6)のカタカナ語の意味を選んで、その記号を書きなさい。

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| (1) デマゴギー | (2) カテゴリー | (3) フォルム |
| (4) コントロール | (5) ステレオタイプ | (6) アレゴリー |

【意味】

ア 形、形式、形態。

ウ 同一のものが属する分類。

オ 手段、媒体。

キ 事実に反する扇動的で謀略的な宣伝。

イ 紋切型、決まりきった形式。

エ 制御、調節。

カ 比喩、たとえ話。

問三 二重傍線部1～5の動詞の活用形を語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

泣いている君は、流れる涙を見せないため、わざと「あっちへ行け！」と叫ぶ。

【語群】 ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問四 次の(1)から(10)の傍線部の片仮名を漢字に直しなさい。

(1) 師匠にケイトウする。

(4) お化け屋敷でキョセイを張る。

(7) 事業がキドウに乗る。

(10) 君が負けるのはインガオウホウだ。

(2) 校庭のタイジユの影に入る。

(5) リンキオウヘンに対応する。

(8) 体操服をフクロに入れる。

(3) 学校からキンキユウの連絡があった。

(6) 牛肉がコけてしまった。

(9) 彼はカロやかに踊る。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

↑
↑
↑^A つこりとするのは、最も簡単な挨拶です。↑^B イッションであつても、気持ちを通じ合わせると言うサインになります。もちろん、時と場合によっては無表情でいることが必要な場合もあるでしょうが、少なくとも、友好的に生活していく上では、表情はとつても大切な要素になると言うことは言えるでしょう。いろんな思いを伝える表情は、いわば、言葉以前の「ことば」と言えるかもしれません。

例えば、↑^B アメリカの大統領候補者は自分の表情について研究するそうです。映画「ハイユウ」でも片方の眉を上げ、そちらのほうの口元だけ笑うようにするという、「顔の半分で笑う」ような表情を見せてくれることもあります。【I】、表情について相当意識しているのではないかと思います。

先日、↑^B バンドン市内で、小さな子どもたちが音楽を聴かせてくれるところへ行つたときのこと、たまたまとなり日本人の青年が座っていたのですが、小さな子がやってきて楽器を貸してくれても、司会者がジョークを言つても、見事なまで終始無表情でした。

日本の青年たちを見てみると、あまりにも【X】だなあと思うことが正直言ってよくあります。例えば、日本で電車に乗っている時に観察する青年たちもそうですが、国際線の飛行機の中などで、サービスを受けるとる時なども、他の国の人たちがサンキューなどと挨拶しているのに、石像のように【X】なままだつた、というのを何回か見たことがあります。会釈ぐらいたったほうがいいんじゃないの、と言いたくなります。怒っているの？威張っているの？というインシヨウを抱いてしまうのです。

【II】、表情には文化による違いもあります。以前、台湾南部へ行つたときに聞いた話ですが、台湾でもいろんなところから来た人たちがいて、中国大陸南部のある地方から来た人たちはあまりにこいしない文化なんだそうです。国際結婚をしてその文化の人たちと同じ屋根の下で暮らしている日本人女性の方から伺つたのですが、やはり、最初は怒っているのかな、ととまどつたそうです。でも、やがて、表情には出さなくても、あたたかい心を持った、とても優しい人たちであることがわかつてほつとしたといいます。

もちろん、表情を出す文化と出さない文化のいずれが「よい」などということではできません。【III】、いろいろな人と出会う現代社会にあつては、文化的なことも含めて、表情について考えてみる機会を持つことはいいことのはずです。国際化時代でいろいろな文化の人と出会う場合、↑^B 愛想のよい表情で失敗することより、愛想が悪い表情で失敗することの方が多いいのではないかと言う気もします。

そこで、↑^B 提案です。その相手と出会えてうれい、という思いがあるならば、【IV】、ありがとう、という気持ちがあるならば、たとえ少しでも、↑^B つこりしてみるといいのではないのでしょうか。ほほえむだけでも、少し眉毛を上げるだけでも、唇をゆるめてぴよこんと首を動かすだけでもかまいません。ちよつとした表情の違いがあたたかい↑^B フンイキをつくると思うのです。それもしないと言つ場合は、例えば、表情にも少しカンシンを持つ↑^B というだけでもいいと思います。

↑^B 表情も重要なコミュニケーションの道具なのです。

おもしろいことに、表情は相手を説得する場合にも有効です。話をしているとき、ここは相手によくわかつてほしい、と言つときに眉毛を上げて相手の目を見ると、印象が違つてきます。学生時代、なぜかその人と話をすると説得されてしまう人がいたのですが、その人は、「そうでしょうか？」と言つときに、少し眉毛を上げて、じつと視線を合わせるような話し方をしていました。話の要所所でそういう表情を見せられると、つい、うん、うん、と首を縦に振つて賛成してしまふから不思議でした。眉毛の動きと言つと変な感じがするかもしれませんが、人形を使った腹話術などでも口だけではなく、

↑^B 眉毛も動くようになっていいる人形が多いようです。↑^B 眉毛の動きは意外に大切なのです。↑^B そういえば【Y】↑^B ということわざもあります。↑^B ついでながら、あのレオナルド・ダ・ヴィンチの「モナリザ」の絵ですが、↑^B 眉毛が見えませんが、モナリザの微笑は楽しいのか、悲しいのか、それとも他の感情なのか、よくわからない不思議な微笑だと言われています。確かに何か不思議な感じがするのですが、このことは、↑^B 眉毛が見えないということも関係があるように思います。目などの表情によって伝わる感情↑^B というのも意外に大きいのです。

(出典：森山卓郎『コミュニケーションの日本語』)

※1 バンドン市↑^B インドネシアの都市。 ※2 愛想のよい↑^B 人への対応が良い様。

問一 二重傍線部ア↑^B オの片仮名を漢字に直しなさい。

問二 傍線部Aとあるが、なぜそのように言えるのか。本文中の言葉を使って次の文の空欄に入るように十字以内で答えなさい。

() というサインになるから。

問三 傍線部Bとあるが、その理由として最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国民に好意的に受け入れてもらうためには表情が重要な道具になるから。
- イ 大勢の人々を前にしたときに感じる緊張を、表情によって隠すことができるから。
- ウ 大統領になるためには、国民の気持ちを知るための必要なサインは、表情に出さなくてはいけないから。
- エ 大統領として時と場合によって違う表情を出すことを人々に求められているから。

問四 【I】↑^B 【IV】↑^B に入れる言葉の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|----|------|-----|------|----|-----|
| ア | I | やはり | II | もつとも | III | それとも | IV | しかし |
| イ | I | やはり | II | もつとも | III | しかし | IV | また |
| ウ | I | そして | II | やはり | III | しかし | IV | また |
| エ | I | もつとも | II | やはり | III | あるいは | IV | しかし |

問五 「X」に共通して入る言葉として、最も適切なものを本文中から三字で抜き出しなさい。

問六 傍線部Cとあるが、筆者の提案をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、本文中の語句を参考に、十字以内で答えなさい。

相手に好意や感謝を伝えるために() という提案

問七 傍線部Dとあるが、これと同じ内容を表している部分を本文中から一文で探し、最初の八字を抜き出しなさい。(句読点も字数に数える。)

問八 「Y」に入ることわざとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目には目を歯には歯を イ 目は口ほどにものを言う ウ 目の色を変える エ 目からうろこが落ちる

問九 傍線部Eとありますが、このように言われているのはなぜか。その理由をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、本文中から二字以内で抜き出しなさい。

人の感情を知るためには() が思っている以上に大切であるから。

問十 次のそれぞれの文について、本文で筆者が言っている内容とあっているものには「○」を、合わないものに「×」をつけなさい。

- ア 表情よりも言葉の方が自分の考えを示す最も有効な手段となる。
- イ 表情を出さない文化は表情を出す文化に劣っている。
- ウ 人の感情を知るためには、顔の表情を表す顔の全ての部分は大切ではない。
- エ 相手を見ながら話すことは相手を説得する場合に効果的である。
- オ 表情に関する各国の文化を知る事は大切である。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

医者から持病の再発を告げられ、手術を勧められた津田は、治療費を実家に頼ろうとするが、実家から家計の窮状を知らせる手紙が送られてくる。金策に困った津田は、妻お延の実家(岡本家)に借金を頼もうとする。

「嫌よ、あたし」

お延はすぐ断った。彼女の言葉には何の淀みもなかった。遠慮と斟酌を通り越したその語気が津田にはあまりに不意過ぎた。彼は相当の速力で走っている自動車を、突然止められた時のような衝撃を受けた。彼は自分に同情のない細君に対して気を悪くする前に、まず驚ろいた。そうして細君の顔を眺めた。

「あたし、嫌よ。岡本へ行つてそんな話をするのは」

お延は再び同じ言葉を夫の前に繰り返した。

「そうかい。それじゃ強いて頼まないでもいい。しかし……」

津田がこう言いかけた時、お延は冷かな(けれども落ちついた)夫の言葉を、すくって追いのけるように遮った。「だって、あたしきまりが悪いんですもの。いつでも行きたんびに、お延はいい所へ嫁に行つて仕合せだ、厄介はなし、生計に困るんじゃないって言われつけているところへ持つて来て、不意にそんな御金の話なんかすると、きつと変な顔をされるにきまつているわ」

お延が一概に津田の依頼を斥けたのは、夫に同情がないというよりも、むしろ岡本に対する「C」に制せられたのだという事がようやく津田の腑に落ちた。彼の眼のうちに宿った冷やかな光が消えた。

「そんなに楽な身分のように吹聴しちゃ困るよ。買ひ被られるのもいいが、時によるとかえつてそれがために迷惑しないとも限らないからね」

「あたし吹聴した覚えなんかないわ。ただ向こうでそうきめているだけよ」津田は追窮もしなかった。お延もそれ以上説明する面倒を取らなかった。二人はちょっと会話を途切らした後でまた実際問題に立ち戻った。しかし今まで自分の経済に関して余り心を痛めた事のない津田には、別にどうしようという分別も出なかった。「御父さんにも困っちゃうな」というだけであった。

お延は偶然思いついたように、今までそつちのけにしてあった、自分の晴着と帯に眼を移した。「これどうかしらしようか」彼女は金の入った厚い帯の端を手を取つて、夫の眼に映るように、電灯の光に翳した。津田にはその意味がちょっと呑み込めなかった。

「どうかするって、どうするんだい」

「質屋へ持つてつたら御金を貸してくれるでしょう」津田は驚ろかされた。自分がいまだかつて経験した事のないようなやりくり算段を、嫁に來たての若い細君が、とくの昔から承知しているとすれば、

それは彼にとって驚ろくべき価値のある発見に相違なかった。

「御前自分の着物かなんか質に入れた事があるのかい」

「ないわ、そんな事」

お延は笑いながら、軽蔑さげすむような口調で津田の問を打ち消した。

「じゃ質に入れるにしたところで様子が分らないだろう」

「ええ。だけどそんな事何でもないでしょう。入れると事がきまれば」

津田は極端な場合のほか、自分の細君にそうした下卑た真似まねをさせたくなかった。お延は弁解した。

「※₃時が知ってるのよ。あの婢おんなは宅うちにいる時分よく風呂敷包を抱えて質屋へ使いに行った事があるんですって。それから近頃じゃ端書はがきさえ出せば、向むかうから品物を受取りに来てくれるっていうじゃありませんか」

細君が大事な着物や帯を自分のために提供してくれるのは津田にとって嬉しい事実であった。しかしそれをあえてさせるのはまた彼にとっての苦痛にほかならなかった。

(出典…夏目漱石『明暗』)

※1 斟酌：事情や心情をくみとること。

※2 細君：自分の妻のこと。

※3 時：津田家の奉公人、お時のこと。昔は岡本家に居た。

問一 二重傍線部ア～オの漢字の読みを書きなさい。

問二 傍線部Aとはどのような話を指しているのか。五字以内で答えなさい。

問三 傍線部Bとは、どういう「言葉」か。最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 妻が自分に対して同情のないことばかりして、何も信じられないと絶望して言った言葉。
- イ 妻が自分に対して同情のないことに怒りつつ、冷静に受け止めたふりをして取り繕って言った言葉。
- ウ 妻が自分に対して同情のないことを確信して、相手への憎しみの極みにいたって言った言葉。
- エ 妻が自分に対して同情のないことに失望しつつも、仕方のないこととあきらめて言った言葉。

問四 【C】に入る最も適当な言葉を、次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 愛情
- イ 見栄
- ウ 拒絶
- エ 敬遠

問五 傍線部Dは、津田のどのような気持ちの表れか。最も適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 岡本に寄せる期待感
- イ 実家に抱く劣等感
- ウ お延に対する不信任感
- エ 津田の持つ優越感

問六 傍線部Eとあるが、妻の発言を聞いた津田が驚いたのはなぜか。その理由をまとめた次の文の空欄に入る言葉を、二十字以上、二十五字以内で答えなさい。

() を、若い細君が知っていたから。

問七 傍線部Fとあるが、誰に何をさせるのか。十五字以上、二十字以内で説明しなさい。(句読点も字数に数える。)

四 次の問題を読んで、後の問いに答えなさい。

ねずみの大勢集まりて談合しけるは、「いつも、かの猫といふいたづら者に捕らるる時、千度悔ひても、その詮なし。かの猫、声を立てるか、足音でもすれば、かねて用心して、捕られぬ覚悟をもするなれども、密かに近寄りて来るゆゑ、折々油断して捕らるるなり。いかにせば良からん」と言ひければ、一つのねずみ、進み出でて申しけるは、「それには何より良き手段あり。かの猫の首へ鈴を付け置かば、たとへ足音はせずとも、あなたに油断はあるまじ」と言ふにぞ、皆々、「もつとも然るべし」と言ひけるが、大勢のねずみの中より、誰あつて、「猫の首へ鈴を付けに行かう」と言ふ者なければ、つひに、その談合は止みにける。

そのごとく、人も後先の勘弁なく、了簡ありげに口をたたく者は、ねずみに等しく、つひには恥をかくものなれば、「口は禍ひの門」と思ふべし。

(出典：『伊曾保物語』)

【口語訳文】

【A】が大勢集まって相談したことはない。「いつもあの【B】という悪賢い者に捕られる時、何度悔やんでも、その甲斐がない。あの【B】が、声を立てるか、足音でもすると、【A】は前もって用心して、捕られない心づもりをするけれども、【B】が密かに近寄りて来るため、【A】は時々油断して捕られるのだ。どうしたらよいだろうか」と言ったところ、一匹の【A】が進み出て申し上げたことは、「それには何より良い手段がある。あの【B】の首へ鈴を付けて置けば、たとへ足音がしなくても、こちらが油断することはないだろう」と言うが、「いかにしてもそうするのがよい」と言ったが、大勢の【A】の中から、ただの一匹も、【B】の首へ鈴を付けに行こう」と言う者がいないので、ついに、その相談は終わってしまった。

そのように、人の後先をわきまえず、考えありげにしゃべる者は、【A】に等しく、しまいには恥をかくものなので、「口は禍ひの門」と心得るべきである。

問一 二重傍線部ア、エの読み方を、すべて現代仮名遣いに直してひらがなで書きなさい。

問二 傍線部Aの口語訳として最も適当なものを、次の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア こちらが油断するにちがいない。
- イ こちらが油断することはないだろう。
- ウ こちらが油断してしまうだろう。
- エ あちらが油断するからだろう。
- オ あちらに油断してほしい。

問三 傍線部B「然るべし」の意味を、後の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア 自然だ
- イ 大変だ
- ウ そうするのがよい
- エ 立派だ
- オ 恐れるはずだ

問四 口語訳文の【A】【B】に入る登場人物を、次の語群から選んで記号で答えなさい。

【語群】

- ア ねずみ
- イ 犬
- ウ 猫
- エ うなぎ

五 次の空欄に言葉を入れて自作のことわざを作成し、後の条件に従って解説しなさい。

時は ()

- (1) あなたのこれまでの経験や実感に基づくことわざにすること。
- (2) 二段落構成にして、一段落目にはあなたが作成したことわざを明示し、二段落目にはそのことわざを作成するのにどのような経験や実感がもたらしたのか具体的に書くこと。
- (3) 十一行以上、十三行以内で書くこと。(句読点を含む。)
- (4) 題名と氏名は書かないこと。
- (5) 正しい原稿用紙の使い方を行うこと。
- (6) 小数点を伴う数字は算用数字で書き入れ、それ以外は漢数字で書くこと。
- (7) 文体は「だ・である」体で書くこと。